

令和2年度（2020年度） 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol. 29 令和3年（2021年）3月31日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

令和2（2021）年度の振り返りと令和3（2022）年度の活動に向けて

しごと部会部会長の山崎です。令和2年度の地域自立支援協議会及びしごと部会の活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の休止を余儀なくされました。利用者や家族の日常が大きく変わり、これまでに経験したことのない事態に不安を抱えた一年だったと思います。

先日、今年度初めての本会議を行い、委員のみなさんよりご意見をいただきました。まだまだ再スタートとはいきませんが、後ろを振り返りながら先を見ていきたいと思っています。

次年度の活動についてですが、「明石就労支援ネットワーク」は、明石市内の就労に携わる関係機関同士のネットワークの構築と、更に一歩進んだ議論をするためにこれまでのしごと部会の活動から独立していくことになりました。

今後は、明石市障害者就労・生活支援センターあくとの活動として、取り組んでいきます。

しごと部会としては、これまで通り、福祉的な就労から一般就労まで幅広く就労を捉え、活動を進めていきます。特に一般就労に関することは、明石市障害者就労・生活支援センターあくとにご協力をいただき優先課題に即した活動を企画し、明石市の障害者就労の充実に取り組んでいきます。

「B型事業所ネットワーク」は、工賃向上に向けた（販売）活動だけに限らず、一般就労へのきっかけとなる活動を見据えB型の出口を準備できるように検討していきます。次に「チャレンジウィーク（企業での就労体験の機会）」は、これまでの「会社で働いてみたい、実際の仕事を知りたい」という体験的な活動から、就労移行として一般就労への第一歩となるような機会を提供していきたいと考えています。「はたらくなかまのつどい」は、コロナ渦でどのような活動ができるのかを当事者と共に検討していきます。

しごと部会は、障害種別問わず、「めざせ就労」をスローガンに当事者一人ひとりが住みなれた明石で働くことを目標に「何ができるのか」を検証し、多様な働き方を実現できるような体制と活動を検討していきます。



山崎部会長

令和2(2020)年度 しごと部会 活動実績 自主製品販売活動

新型コロナウイルスの感染拡大の影響と活動自粛により、販売活動の機会が減っている中、B型事業所ネットワークでは、県立高校（明石高校・明石清水高校）内の販売とコープこうべ店舗（朝霧・大蔵谷・西明石・大久保・魚住）での販売に取り組みました。



【県立高校販売(令和2年4月～令和3年3月末開催)】

1) 明石高校 参加事業所：8事業所（サポートセンター曙、ステップあつぷ西江井島、こぐまくらぶ明石ウエスト、ピアスペース西明石、ふれあい作業所、さくら工房、きっちんそら、明石錦城の園）

2) 明石清水高校 参加事業所：11事業所（サポートセンター曙、ステップあつぷ二見、こぐまくらぶ明石ウエスト、ピアスペース西明石、ふれあい作業所、さくら工房、明石錦城の園、ワークスペースななかまど、就労支援あいち、みちくさ本舗、木の根学園）

【コープこうべ 5店舗での販売

(令和3年3月11日(木)～3月25日(木)実施)】

参加事業所：11事業所（サポートセンター曙、ステップあつぷ二

見、こぐまくらぶ明石ウエスト、ふれあい作業所、さくら工房、就労支援あいち、きっちんそら、にじ作業所、ハッピークラフト、リーフあかし、木の根学園）

活動に関するお問い合わせ先：明石市地域自立支援協議会しごと部会 事務局

明石市基幹相談支援センター（担当：南部）

電話：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134 E-mail：t.nanbu@pure.ocn.ne.jp